

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

自治体名	栃木県宇都宮市（ ^{おおや} 大谷地域）
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	<p>宇都宮市が誇る観光拠点である「大谷地域」は、古くから「大谷石」の採石業で栄えたまちです。</p> <p>大谷石は加工しやすく、温かみのある風合いが特徴で、かつては石塀や石蔵の材料として、現在では、住宅や店舗などの個性・表情を生み出す内外装材として、市内だけでなく都内の高級飲食店などでも使用されています。</p> <p>そして大谷地域の最大の特徴は、四季折々の自然の中に露出した大谷石の奇岩群や大谷石採取場の空間、大谷石づくりの建築物など、豊かな自然の中で長い年月をかけて育んできた、世界にも例を見ない魅力的な景観を有していることです。</p> <p>また、近年は、幅広い年代を魅了する瀟洒なレストランの出店や神秘的な大谷石採取場の空間を活用したアクティビティ体験、グリーンスローモビリティで快適・便利に巡るガイドツアー（主要な観光施設だけでなく、いちごの圃場など特別な目的地へ案内するツアーについても検討中）など、新たな観光の動きも盛んであり、訪れるたびに新たな発見のある観光地として、毎年多くの観光客で賑わっています。</p> <p>さらには、地域独自の再生可能エネルギーである「冷熱エネルギー」を活用した夏秋いちごの栽培やワイン・農産物の熟成など、観光のみならず農業・産業分野においても高いポテンシャルを有するエリアです。</p> <p>※ 宇都宮市が掲げる「再生可能エネルギーの最大限導入・活用」や、移動に伴うCO₂の排出をゼロにする「ゼロカーボンムーブ」など、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>「春の桜と奇岩」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「新緑の大谷」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「大谷石」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>「地底湖クルージング」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ジップライン」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ベーカリー&レストラン」</p> </div> </div>
アクセス方法	<p>【JR 東京駅】－東北新幹線（約 50 分）－【JR 宇都宮駅】</p> <p>－（車で約 20 分）－大谷地域</p>

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

大谷石の採石によって生み出された地下採取場跡地の多くには、地下水が貯留し、その水温は平均10度前後と一般的な地下水よりも冷たいことから、宇都宮市ではこれを「冷熱エネルギー」として、大谷地域のさらなる活性化やエネルギーの脱炭素化に向けて、農業や産業分野への新たな活用を推進しており、その取り組みの一つとして、夏秋期に栽培する「大谷夏いちご」の産地化が進んでいます。

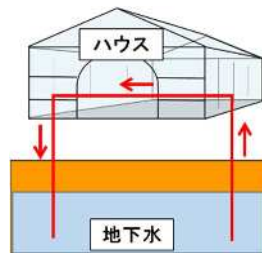


「幻の逸品 大谷夏いちご」



「地下に貯留した冷水」

本来、いちごは暑さに弱いため、大谷地域では、採取場跡地の冷水をポンプで地上に引き上げ、いちごの苗が植えられた培地周辺に張り巡らされたチューブを通して、いちごの株元を冷やす「クラウン冷却」という独自の手法を用いています。



主な地域課題

通常、夏場のいちご栽培は、エアコンなど大量の電気を使う必要がありますが、大谷地域の場合は自然の冷水（冷熱エネルギー）を使うことができるため、圧倒的に電気代のコストやCO₂の排出を抑えることが可能です。



しかしながら、冷熱エネルギーを活用するには、地下から冷水を汲み上げるための設備（水中ポンプ等）が必要であり、その設備を設置・稼働・点検するコストがいちご生産者にとって負担となっています。

また、夏秋いちご栽培以外にも冷熱エネルギーを活用した産業として、地上部における「保冷倉庫事業」の実証実験を数年前から行っており、天然の地下空間の環境（温度や湿度）を地上のコンテナ倉庫に再現し、農産物やワインの熟成などに一部利用していますが、具体的なビジネスモデルの構築には至っていない状況です。

【主な地域課題（冷熱エネルギーの活用）】

- ・ 今後ますます、夏の酷暑が深刻化する中、「冷熱エネルギー」をより効率的・効果的に活用するための仕組みを検討し、一年を通して安定的にいちご栽培を行える環境を構築する必要がある。
- ・ 夏秋いちご栽培の他にも「保冷倉庫事業」をはじめ、冷熱エネルギーを活用した新たな事業の創出を図る必要がある。

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

受入時期	令和6年8月上旬～11月下旬
ワーケーションプログラム内容	<p>【グリーンスローモビリティで巡る大谷地域のプレミアムツアー】</p> <p>「大谷資料館」や「大谷寺」、「カネホン採石場」など主要な観光施設のほか、大谷夏いちご園場の見学や採取場跡地を活用したアート空間の体験など、大谷地域の見どころをガイド付きのグリーンスローモビリティで、余すことなく満喫できるツアー形式でご案内いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 滞在時間や宿泊数、その他ご希望に応じて、目的地を選んでご案内いたします。 ※ 観光施設の入館料や施設内での体験料は有料となりますが、グリーンスローモビリティの乗車やその他の施設（いちご園場等）の見学料は無料となります。 ※ 市職員が同行させていただき、道中、様々な意見交換をさせていただければと思います。 <p>(参考) 観光施設の入場料等 大谷資料館：800円、大谷寺：500円、カネホン採石場：500円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">「グリーンスローモビリティ」</p>
主な対象事業者	コンサルティング業、農業、物流業、エネルギー業など
受入上限数	一度に最大10名程度
事業者に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・冷熱エネルギーを活用した事業について、専門的な知見からアドバイスや提案をしていただけること。 ・冷熱エネルギーを活用した事業に参入していただけること。 ・その他、大谷地域の取組に広く関心を持っていただき、継続して協力・連携をしていただけること。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアー中のご飲食場所は、こちらでご提案させていただきたいと存じますが、別途料金がかかります。 ・大谷地域内には宿泊できる施設が無い場合、宿泊される場合は、中心市街地や駅周辺などで事前に宿泊先をご予約いただきますようお願いいたします。 ・事前にご相談いただければ、JR 宇都宮駅や宿泊先から大谷地域までは、市の公用車でご案内いたします。